

2

これれた千の楽器 ほか①

10~31
な ま え

組 番

知識・技能
漢字

点

東4・4②

めあて・習った漢字を読んだり書いたりしましょう。

【評価規準】新出・読みかえ漢字を読んだり書いたりすることができ。

漢字を読んだり書いたりしましょう。

各5点(100)

漢字を読む

① 倉庫の中。 **そうこ**

② 大臣の発言。 **だいじん**

③ 発表の方法。 **ほうほう**

④ 作文の題材。 **だいざい**

⑤ 新しい楽器。 **がっき**

⑥ 旅行の目的。 **もくてき**

⑦ 情報の伝達。 **でんたつ**

漢字を書く

★ の言葉は、漢字と送りがなて書きましょう。

⑧ 例をあげる。 **れい**

⑨ 要求する。 **よう 求**

⑩ くもの巣。 **くもの 巣**

⑪ 共通点。 **きょう 通**

⑫ 関係者。 **かん 係**

⑬ 数種類。 **しゆ 類**

⑭ 案内。 **あん 内**

⑮ 紙でつつむ。 **紙でつつむ**

⑯ 色が変わる。 **色が変わる**

⑰ 目をさます。 **目をさます**

⑱ なまえをつける。 **付ける**

⑲ よくはたらく。 **働く**

⑳ 練習をつづける。 **練習をつづける**

てひき 「動く」ではないよ。

▼ 終わったら、うしろをやってみましょう。

2

漢字の練習①

15

な ま え

組 番

東4・4②

★ 漢字を書きましょう。

各10点(100)

① もうすぐ、お

宮

のお

祭

りだ。

② 順番を

守

って

一

列

にならぶ。

③

荷物

を

箱

にしまう。

④

両手

でボールを

受

け取る。

⑤

有名

人に取材を

申

しこむ。



6

漢字辞典の使い方

32～35
な ま え

知識・技能
漢字

点

東 4 ・ 4 ⑥

めあて・習った漢字を読み書きしたり、漢字辞典の使い方をたしかめたりしましょう。

【評価規準】新出・読みかえ漢字を正しく読むことができる。

○…新出漢字 ○…読みかえ漢字

1 の漢字の読みがなを書きましよう。

各5点(30)

な

① 漢字の成り立ち。

② 達成する

③ 辞書

くんれん

じてん

いんよう

④ 訓練

⑤ 百科事典

⑥ 引用する

【てびき】「成り立ち」は「物事ができあがるまでのでき方」のことだよ。

【評価規準】新出・読みかえ・既習漢字を正しく書くことができる。

2 漢字を書きましよう。

各5点(30)

① 病を治す。

② 山が連なる。

③ 勉学に努める。

④ 順番

⑤ 飛行機

⑥ 指先の感覚

【評価規準】漢字辞典の引き方が分かる。

3 「法」と「続」という漢字を、漢字辞典でさがします。次のことが分かっているときに使用するさく引をえらんで、記号を書きましよう。

各10点(40)

「法」

① 音読みが「ホウ」(イ)

「続」

① 訓読みが「つづく」(イ)

② 八画で書く

(ウ)

② 部首が「いとへん」

(ア)

【てびき】「総画」とは「一つの漢字の画数を全て数えたもの」だよ。

ア 部首さく引 イ 音訓さく引 ウ 総画さく引

▼終わったら、うらもやってみましよう。

6

漢字トレーニング

な ま え

く み

ば ん

★ 同じ部首の漢字を書きましょう。

各10点(100)

〈うかんむり〉

①

宿

しゆく

題

②

寒

さむ

い朝。

③

お宮

みや

まいり

④

お客

きやく

様

⑤

びわの

実

み

⑥

安

あん

全を

守

まも

る。

〈にんべん〉

⑦

代

だい

表者

⑧

二倍

ばい

の数。

⑨

その他

た

てびき 「代」の四画目、「他」の五画目をしっかりとねよう。

うかんむり「宀」と
あなかんむり「宀」や、
にんべん「イ」と
ぎょうにんべん「イ」など
形がにている部首に
気をつけよう。



7

ヤドカリと
イソギンチャク ①

36~45

な ま え

組 番

知識・技能

漢字

点

東4・5①

めあて・習った漢字を読んだり書いたりしましょう。

【評価規準】新出・読みかえ・既習漢字を読んだり書いたりすることができると。

漢字を読んだり書いたりしましょう。

○…新出漢字 ●…読みかえ漢字

各5点(100)

漢字を読む

① なか
仲がよい。

② まも
身を守る。

③ かんけい
関係者

④ きねん
記念品

⑤ こうさつ
考察する

⑥ ろくおん
録音する

⑦ しく
体の仕組み。

漢字を書く

★ のことは、漢字と送りがなくて書きましょう。

⑧ 海水
浴

⑨ 説明
文

⑩ 観光
客

⑪ 方法
ほう ほう

⑫ 好物
こう ぶつ

⑬ 科学
実験

⑭ よい
結果

⑮ 富む
えいようにとむ。

⑯ 結ぶ
ひもをむすぶ。

⑰ 果たす
使命をはたす。

⑱ 付ける
金具をつける。

⑲ 浴びる
水をあびる。

⑳ 読む
読書をこのむ。

▼終わったら、うしろのページをめくって読みましょう。

7

漢字トレーニング

なまえ

組 番

★ 同じ部首の漢字を書きましょう。

各10点(100)

〈くさかんむり〉

① トラックの

荷 台。

②

苦 い

薬 を飲む。

③ 木の

葉 は

落 お ちる。

〈たけかんむり〉

④

等 ひと しい形。

⑤

第 だ い 一歩をふみだす。

⑥

一 筆 ふで 書き

⑦

箱 は こ に 笛 ふ え をしまう。



(イラスト／川野郁代)

8

ヤドカリと イソギンチャク ②

36～45

なまえ

組 番

知識・技能
言葉

点

めあて ● 言葉の意味や使い方をたしかめましょう。

【評価規準】 言葉の意味が分かる。

1 次の言葉の意味を〔 〕からえらんで、（ ）に記号を書きましよう。

各10点(30)

① 観察 (ウ)

② 記録 (ア)

③ 実験 (エ)

ア 事がらを文字などでのこすこと。
イ 物事がどうなるか、予想すること。
ウ 物事の様子や変化を注意して見ること。
エ 予想が正しいかどうかを調べてみること。

【評価規準】 言葉の意味や使い方が分かる。

2 ()に合う言葉を、〔 〕からえらんで書きましよう。

各10点(40)

① やわらかな風が、ほおに (ふれる)。

② せいざをしたので、足が (しびれる)。

③ シールを台紙から (はがす)。

④ ぼうの先で、草むらの中を (つつく)。



(イラスト／川野郁代)

つつく・はがす・ふれる・くたく・しびれる

【評価規準】 話題を変えるときに使う言葉が分かる。

3 話題を変える言葉を使っているほうに、○をつけましよう。

各10点(30)

① () さては、おかしをひとりじめする気ですね。

() さて、今後の計画について、話をましよう。

② () ところで、明日の予定は決まっていますか。

() ところが、思ったとおりにはいきませんでした。
でも、本当にうまくいくかどうかは分かりません。

③ () では、こんな方法をためしてみてはどうですか。

9

漢字トレーニング

なまえ

組 番

東4・5③

★ 漢字を書きましょう。

各10点(100)

① ジュースの中の

氷

こおり

がとけて

味

あじ

がうすくなる。

② コーヒーはさとうを入れて

飲

の

まないと

苦

にが

い。

③

葉

は

っぱの間から

太陽

たいよう

の光がさす。

④ すばらしい

詩

し

を読んで

感動

かんだう

する。

てびき

「感」の八画目や右上の点をわすれないように。

⑤

区役所

くやくしょ

のとなりに

花屋

はなや

がある。



(イラスト／川野郁代)

国語

説明のまとまりを見つけよう
ヤドカリとイソギンチャク
(P.36~51)

名前

組番

点

知識・技能 漢字

【評価規準】 漢字を正しく読むことができる。

1 の読みがなを書きましよう。

各5点
／30

むかし

そだ

えきまえ

① 昔の話。

② いねが育つ。

③ 駅前店。

しょうせつ

たいけん

きょうりよく

④ 小説を読む。

⑤ 体験する

⑥ 協力する

【評価規準】

漢字を正しく書くことができる。

2 漢字を書きましよう。(は、漢字と送りがなを書きましよう。)

各5点
／50

① てい

湖底 にしずむ。

② と

さいのうに 富む。

③ なかま

チームの 仲間。

④ かんさつ

あさがおの 観察。

⑤ とし

大きな 都市。

⑥ ねん

念のため、記録 にのこす。

⑦ きろく

⑧ ていか

気温が 低下する。

⑨ かじつ

すきな 果実 を選ぶ。

⑩ えらぶ

【評価規準】 正しい漢字が分かる。

まちがえやすい漢字

3 次の文の中で、まちがっている漢字一つに×を付け、□に正しく書き直しましよう。

(それぞれ、両方できて正答各5点) / 20

① 兄と海水氷に行く。

浴

② 農家の仕事を調べる。

農

③ 弟の高物は肉だ。

好

④ 決局、全員集まった。

結

★ つじの問題もやりましよう。

国語

説明のまとまりを見つけよう

ヤドカリとイソギンチャク

(P.36~51)

名前

組

番

点

知識・技能 言葉

【評価規準】言葉の意味が分かる。

1 言葉の意味に合うものを からえらんで、きこうで答えましょう。

各10点 / 40

(1) 病気になったときの、体を守る仕組みを調べる。……

ウ

(2) あせらないで、じつくりと機会を待つ。……

ア

(3) ちよつとしたことから、なぞをとく手がかりをつかむ。

オ

(4) よくねむることと体の成長には関係がある。……

エ

ア ちようどよいとき。

イ ためになること。とく。

ウ くみたて。なりたち。

エ かかり合い。

オ きっかけ。いとぐち。

【評価規準】言葉の使い方が分かる。

2 合う言葉を からえらんで書きましょう。

各10点 / 40

(1) 大きな音におどろいて、家の外に 飛び出す。

(2) わにが、強力なあごと歯で、えさを かみくだく。

(3) 母へのプレゼントをさがして、父とデパートの中を 歩き回る。

(4) さわった氷のつめたさに、思わず手を 引っこめる。

歩き回る・助け合う・かみくだく・飛び出す・引っこめる

【評価規準】同じ部首の漢字が分かる。

3 のうち、「ㇿ(うかんむり)」と組み合わせると漢字ができるものを二つ

えらんで、できた漢字を書きましよう。

各10点 / 20

宿

寒

〈順不同〉

寒・電・余・佰

11

たしかめながら
話を聞こう ほか ①

46~57

なまえ

組 番

知識・技能
漢字

点

東4・5⑤

めあて・習った漢字を読んだりかいたりししましょう。

【評価規準】新出・読みかえ・既習漢字を読んだり書いたりすることがでる。

漢字を読んだりかいたりししましょう。

○…新出漢字 ○…読みかえ漢字
各5点(100)

●漢字を読む

① ぬまの底。そこ

② 愛犬と遊ぶ。あいけん

③ 全校生徒。せいと

④ 協力する。きょうりよく

⑤ 計量する。けいりょう

⑥ 本の種類。しゅるい

⑦ 海底の生物。かいてい

●漢字を書く

★…の言葉は、漢字と送りがなでかきましょう。

⑧ 低学年。てい

⑨ 散歩する。さんぽ
てびき 七画目をわすれない。

⑩ 会議室。かいぎ

⑪ 反省点。はんせい

⑫ 完成品。かんせい

⑬ 必要物。ひつよう

⑭ 清書する。せいしよ

⑮ あさい池。あさい

⑯ 清い心。きよい

⑰ 低い山。ひくい

⑱ 色をえらぶ。えらぶ

⑲ おだをはぶく。おだ

⑳ さくらの花がちる。ちる
▼終わったら、うらやまやってみましょう。

11

漢字の練習②

51
なまえ

組 番

★ 漢字をかきましょう。

各10点(100)

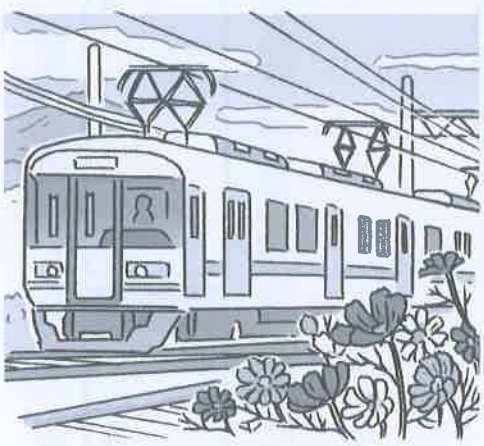
① 坂の向こうには、海が広がっている。

② 緑色の野菜が実る。

③ 昔ながらの商店街。

④ 大きな都市で生まれ育つ。

⑤ 線路ぞいにさく一面の花。



(イラスト／川野郁代)

クラス対抗のソフトボール大会は二月十日だった。

「なんとしても、この試合には勝たなくてはならない」

と、四年三組のクラス委員、秋本広は思いつめていた。

広の学校の四年は五クラスある。一組と四組には、それほどうまい選手はいない。ちょっとがんばれば勝てそうである。

しかし、二組と五組には、うまい選手がそろっている。よほどがんばらなくては、勝ちめはなさそうだった。「そうだ。ピッチャーに、福太郎をつかおう。あいつにピッチャーをやってもらえば、うまくいくかもしれないぞ」

広は、色の白い、まるっこい顔をした福太郎をおもいだして、おもわ

ずひぎをたたきにくくなった。

いつか、福太郎のピッチングを見て、ひどくかんしんしたことがある。

そこで、休み時間

になると、広は福太郎のつくえのまえに

いって、声をかけた。

「こんどのソフトボ

ール大会に、ピッチャーやってくれないか」

すると、福太郎は、まるい顔をに

こっとさせてうなずいた。

広は、すっかりうれしくなって、「あしたから、練習は始めるぜ。三時から六時まで。場所は公園のグラウンドだ。いいな」



(時計屋のおとうさん 大石真)

◆ 上の物語を読んで答えましょう。

1 二月十日に、何をするのですか。 [10]

クラス対抗の「ソフトボール大会」

2 秋本広は、クラスで何をやっていましたか。 [10]

「四年三組のクラス委員」

3 秋本広は、何を思いつめていたのですか。あうもの一つに○をつけましょう。 [10]

() どんなにがんばっても試合に勝てないこと。

() クラス委員になってしまったこと。

(○) ソフトボール大会で勝つこと。

4 広の学校の四年はクラスがいくつありますか。 [10]

五 クラス

5 うまい選手がそろっているクラスを二つ書きましょう。 各10点 [20]

二組 五組

6 広は試合に勝つために、だれをピッチャーにしようと考えましたか。 [10]

福太郎

7 広は、まえに福太郎のピッチングを見て、どう思いましたか。 [15]

ひどくかんしんした。

8 福太郎が、ピッチャーをすることをうれしく思っていることは、どんなところからわかりますか。 [15]

(福太郎が) まるい顔を

にこっとさせてうなずいたところ。

※「こっとさせてうなずいた」ところを書けていれば正答。

漢字の 部分の名前を□から
えらんで、()に書きましょう。
各4点(24)

へん・によう・つくり・あし
たれ・かまえ・かんむり

- ① 葉・宿・箱 …… (かんむり)
- ② 線・流・投 …… (へん)
- ③ 病・庭・原 …… (たれ)
- ④ 遠・道・追 …… (によう)
- ⑤ 園・間・図 …… (かまえ)
- ⑥ 顔・教・列 …… (つくり)

「こそあど言葉」に、——を引きま
しょう。
各4点(16)

① 「あちらまでごあんないします。」
と、係の人が言った。

② 「このお茶は、おいしいね。」
と、お父さんが言った。

③ 「そこは、あぶないよ。」
と、おじさんが言った。

④ 「おや、虫歯ですね。」
歯医者さんは、そう言った。



2 次の部分のある漢字を、□に書きま
しょう。
各4点(48)

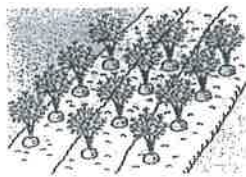
- ① しんによう (しんにゆう) ↓ 進 (すすむ) □ 運 (はこぶ)
- ② いとへん ↓ 緑 (みどり) □ 細 (ほそ)
- ③ くにがまえ ↓ 国 (くに) □ 回 (まわ)
- ④ こころ ↓ 急 (いそぐ) □ 息 (いき)
- ⑤ さんずい ↓ 深 (ふか) □ 泳 (およ)
- ⑥ うかんむり ↓ 安 (やす) □ 寒 (さむ)

4 チャレンジ
文章にあう「こそあど言葉」を□
からえらんで、()に書きましょう。
各4点(12)

あれ・これ・あの・この・こう

にんじんの種をまいたら、うすく土
をかけて、水をやる。(この)こと
は、植物を育てたことがある人ならだ
れでも知っている。

では、水をやらなかつ
たら、種はどうなるだろ
う。(これ)では、ほ
とんどの種は芽を出さな
い。日照りが続いている時期なら、な
おさらだ。(こう)することによつ



て、種は、芽を生えそろわせるのだ。